



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 6日 金曜日	試合コード	#54
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	熊本県立総合体育館

結果	A	スコア		B
	フランス	18	前半	20
7 — 9				
後半				
11 — 11				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7mc				
—				
—				
FRA			DEN	

戦況	見出し	DEN-激闘を制しメインラウンド進出
	前半	予選ラウンド激戦のGroupB最終戦。FRAのスローオフで運命の一戦が開始。DENのDFは、5-1システム。お互いにミスからのスタートでDENが退場しFRAに7mTが与えられるがGKに阻まれる。FRAは2回目の7mTで先取点を決める。FRAのDFは、5-1システム。FRAも退場者を出し7mTを獲得。確実に決め、両チームの初得点は7mTと激闘の予感。DENは両ウイングからキレのあるサイドシュートを決め2点リード。対するFRAはコートを広く使った展開から鋭いカットインシュートを決め1点差。FRA-no4の2回目の退場でDENはポジションチェンジからのカットインシュートで4得点目。DENは7mTで連続得点。GKのファインセーブもあり、中盤で5対2とDENがリード。FRA-no21のロングシュート、no19のミドル、no2のカットインシュートが矢のごとくゴールに突き刺り5対5の同点。一人少ないFRAだが、no19の驚異の身体能力から放たれるロングシュートが決まり再び同点。27分過ぎ、7対7の時点でFRAがタイムアウトを申請。1点リードするDENが33秒を残しタイムアウトを申請。サイドシュートが決まり2点差。終了直前にDENに退場処分。ノータイムフリースローを防ぎ、9対7とDENがリードし前半を折り返す。
後半	一人少ないDENは、GKをCPに代えてのスローオフで後半がスタート。得点能力の高いレフトウイングから決め3点差。立て続けに退場者を出したDENは7mTで失点。4人のDFに対し、レフトウイングから確実に決め1点差にすると、5人のDFに対し連続得点をあげ追いつく。6人に戻ったDENは、大きな展開からカットイン・ミドルシュートの連続得点。FRAも7mTで得点。2点差でDENがリード。9分過ぎ、FRAは退場者を出し5人のDF。7mTを与え失点し、3点ビハインド。引き離したいDEN、追いつきたいFRA、互いに激しい攻防を繰り広げるが、無得点の時間帯が6分間続く。DEN-no28、長身ながら俊敏な動きでロングシュートを決め4点差としたところで、FRAはタイムアウトを申請。直後、DENが退場処分。FRAは、流れるような球回しでサイドシュートとカットインシュートで連続得点。DENも1点を返すが、FRAの7mTで失点。17対15でDENがリード。DENが退場処分を受け、FRAは7mTを決め1点差。FRAはチャンスを作るもののDEN-GKに阻まれ追加点が奪えない。残り2分10秒でDEN退場し、FRAが7mTを決め再び1点差。DEN-no8の強烈なロングシュートが決まり2点差。FRAはチームタイムアウトを申請。FRA-no19のカットインシュートで得点をあげ、たまたまDENは、タイムアウトを申請。直後、13秒でDENが7mTを獲得し、確実に決め2点差でDENが勝利。プレーヤーオブザマッチは、DEN-no1のTOFT Sandraに贈られた。	



戦況作成者	牧 均
-------	-----